

奄美図書館だより

〒894-0016 奄美市名瀬古田町1-1 0997-52-0244
HP address : <http://www.library.pref.kagoshima.jp/amami/>
E-mail address : ama-lib@pref.kagoshima.lg.jp

郷土コーナー講演会

本年度は12月25日(木)に、「戦後70周年へ向けて、戦時中の奄美をどのように学べばいいか」をテーマに2つの講演を開催しました。

一つ目の講演は、「瀬戸内町の戦跡を訪ねて」と題して瀬戸内町立図書館・郷土館学芸員の鼎丈太郎さんが瀬戸内町内に残存する戦争遺跡の一部を写真で紹介、説明をしてくださいました。

二つ目の講演は、「子どもたちに伝えたい戦時中の奄美Q&A」と題して平成27年度奄美市生涯学習講座「戦後70年・戦時中の奄美を学ぶ講座」主宰の花井恒三さんが先人たちの思いを子どもたちへどのように伝えていかなどお話しくださいました。

参加された方々からは、「戦跡をもっと多くの人に知らせることが必要だと思いました。」「貴重な内容の会に参加できたことが本当に嬉しいです。自分が語れる何かを一つでも見つけて、平和への思いを一人でも多くの方と語り合いたいと思います。」「瀬戸内町にまだあのような多くの戦跡があることに驚きました。」などの感想をいただきました。



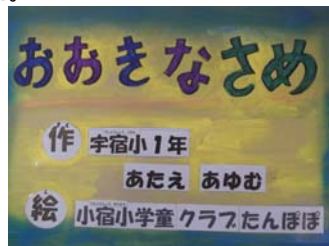
ネリヤカナヤ創作童話コンクール 子どもたちの作品をお読みください

第11回(2014年度)ネリヤカナヤ創作童話コンクールで最優秀賞を受賞した作品8編を鹿児島県立奄美図書館ホームページに掲載しました。

また、第1回からのネリヤカナヤ創作童話コンクール応募作品のすべては、鹿児島県立奄美図書館にて製本・保存しており、いつでも閲覧することができます。

そして、ボランティアの方々からのご協力により、入賞作品の中から大型紙芝居やおはなし用品に作品化して、学校や親子読書会等での読み聞かせに利用している作品もあります。

すでに、第11回の作品から、最優秀賞を受賞した宇宿小1年あたえ君の「おおきなさめ」を、小宿小学校学童クラブたんぼぼと山下洋子さんが紙芝居にして、奄美図書館に寄贈してくださいました。



なお、第11回(2014年度)ネリヤカナヤ創作童話コンクールの入賞(最優秀賞・優秀賞・佳作)作品を一冊にまとめた「第11回ネリヤカナヤ創作童話コンクール受賞作品集～奄美の小さな童話作家たち～」を3月上旬に刊行する予定です。鹿児島県立奄美図書館や各学校の図書館で、閲覧することができます。

豊かな風土・自然に抱かれて育った子どもたちのすばらしい想像力・表現力を感じることができる作品ばかりです。ぜひ、ご覧ください。

本の寄贈についてのお願い

奄美図書館にない本のみ寄贈を受け付けます

図書館の書架のスペースが限られており、原則として、奄美図書館に所蔵のない本のみ寄贈を受け付けます。つきましては、奄美図書館のホームページ、または館内の検索用パソコンで蔵書検索をしていただき、奄美図書館に入っていない本をお持ちくださるようお願いいたします。蔵書検索ができない場合には、事前に、寄贈したい本のリストを図書館にお出しください。当館で検索したあと、所蔵していない本のみ寄贈を受け付けます。

本の寄贈に関するお問い合わせは、鹿児島県立奄美図書館までお気軽にお尋ねください。

平成26年度 鹿児島県立奄美図書館生涯学習講座 あまみならでは学舎 終了

平成26年度 鹿児島県立奄美図書館生涯学習講座「あまみならでは学舎」8回の講座全てが、平成27年1月17日(土)奄美海洋生物研究会の興克樹さんの「地域資源としての奄美の海洋生物」講座をもって終了しました。

今年度は、自然・健康・水産・郷土・国防と幅広い分野で、今後の奄美の発展のためにも意義ある講座となりました。各講座の様子は、ビデオで収録しており、館内で視聴することができます。

また、講座終了後には、修了式を行い、6回以上受講された方16名に修了証書をお渡ししました。多くの方に受講していただき、ありがとうございました。

生きがいのある人生を築くとともに、潤いと活力のある地域社会の実現を図るために、平成27年度も多彩な内容を企画し、実施する予定です。楽しみにしていただきたいと思います。



2月の行事カレンダー



月	日	曜	行事・催し
2	2	月	休館
	4	水	おはなしの森 15:30~
	7	土	おはなしさんぽ 10:30~
	9	月	休館
	11	水	おはなしの森 15:30~
	16	月	休館
	18	水	方言の日(ポスター掲示など) おはなしの森 15:30~
	21	土	あまみ子どもライブラリー 10:00~
	23	月	休館
	25	水	休館(整理研修日)
3	4	水	おはなしの森 15:30~
	11	水	おはなしの森 15:30~
	14	土	あまみ子どもライブラリー 10:00~
	18	水	おはなしの森 15:30~

方言の日

2月18日(水)は、方言の日です。

奄美図書館では、この日の意義を広報するため、館内のいたるところに、方言に関する特別コーナーを設けました。例えば、3階閲覧室には、方言カルタや方言マップ、島口ことわざカルタが展示されています。島口を守り、次世代に継承していきましょう。

3月の休館日予告

2日(月)・9日(月)・16日(月)

23日(月)・25日(水)

30日(月)

今月の新着図書コーナー

読書の風を
奄美から

児童

ふしぎなにじ
わたなべ ちなつ 福音館書店

パンどうぞ
彦坂 有紀, もりと いずみ 講談社

すりかえかめん
はら こうへい 河出書房新社

レイチェル・カーソン
筑摩書房編集部 筑摩書房

おさるのジョージはいしゃさんへいく
M.レイ, H.A.レイ 岩波書店

南極から地球環境を考える 1
国立極地研究所 丸善出版
その他59冊

郷土関係

評伝赤崎勇その源流
枚田 繁 南方新社

あなたの知らない九州・沖縄地方の名字の秘密
森岡 浩 洋泉社
その他13冊

おすすめの本

マララ~教育のために立ち上がり、世界を変えた少女~
マララ・ユスフザイ 岩崎書店

2014年、ノーベル平和賞を受賞したマララさん。マララさんは、アフガニスタンとの国境に近いパキスタンのスワートという町で生まれました。学校に行き勉強するのが大好きで、弟や級友たちとケンカしてしまう、どこにでもいるごく普通の女の子です。この本を読むと、マララさんがどんな女の子なのか、どういう環境で育ったのかがよくわかります。タリバンに狙われつつも、どのようにして平和と子どもの教育の権利を広く世界に訴えてきたのか、マララさん自身の文章でわかりやすく書かれています。

一般

あるがままに生きる
南淵 明宏 永岡書店

住宅設計の基本ルール
山崎 健一 エクスナレッジ

最新戦略PR
本田 哲也 KADOKAWA
その他176冊

小説・随筆

女王
連城 三紀彦 講談社

キャロリング
有川 浩 幻冬舎

奇跡の人
原田 マハ 双葉社

アイネクライネナハトムジーク
伊坂 幸太郎 幻冬舎
その他36冊

進学・ビジネス支援

フリーランス&個人事業スタートアップマニュアル
榎本 博之 ぱる出版

サラバ!

西 加奈子 小学館

「僕はこの世界に、左足から登場した。」という一文から始まる小説は、主人公の僕がこの世に生まれてから37歳の現在に至るまでを描いた、上下2巻に及ぶ長編小説です。

...幼い頃から家族に振り回され続け、素直ない子でいようと、受け身で波風をたてぬように生きてきた僕。大きくなって、家族を避けるように生活し、僕の人生は順風満帆そのものだった。ところが途中で何かが狂い始める。...

僕の半生にピタリと寄り添って読み進めていくのは、面白く、飽きることがありません。イラン生まれの大阪育ちという著者と主人公の境遇が似ているところも興味深いです。